

日青協ニュース

NISSEIKYO NEWS

一般社団法人
日本青果物輸入安全推進協会

東京都千代田区神田和泉町1丁目 12-16

末広ビル

電話 03(5833)5141

No.821

平成 27 年 3 月 5 日

印刷所 ニチエイブプリント

平成 27 年度日青協通常総会

去る2月20日、平成27年度通常総会が東京都千代田区のKKRホテル東京において開催された。出席数は、会員総数134名のうち、委任状含め102名であった。

総会の冒頭、守谷会長から一般社団法人に移行してから2年が過ぎ、その間世界各地での異常気象現象、急激な円安など、業界を取り巻く環境は大変厳しいなか、会員の皆様のご理解とご支援、また、厚生労働省並びに農林水産省のご指導の下なんとか乗り越えることができたと報告。

今後は当協会の原点である、輸入青果物の安全性確保並びに植物防疫の効率的実施に立ち戻り、当協会の運営を図って行きたいと説明し、特に会員各位には、「輸入青果物安全管理行動規範」の趣旨に基づいた行動をすることで高いレベルでの安全性の確保が可能であると挨拶した。



会議は、規定に基づき会長が議長となり、①平成26年度事業報告、②同決算報告、③平成27年度事業計画(案)、④同業務会費単価(案)、⑤定款一部変更、⑥平成27年度収支予算(案)、⑦任期満了に伴う役員改選、⑧その他について審議され、それぞれ原案通り承認された。

平成27年度事業計画

1. 部会別事業計画

(1) 広報部会

- ① 菜果フォーラムの発行(年3回)
- ② ホームページの運営

- ③ 研修会・セミナー・講習会の実施
- ④ その他広報に関する事項

(2) 食品衛生部会

- ① 輸入青果物安全管理行動規範の普及
- ② 輸入青果物安全情報センターの準備
- ③ 残留農薬対策
- ④ その他食品衛生に関する事項

(3) 植物防疫部会

- ① 輸入禁止生果実に関する情報収集及びの輸入解禁の促進
- ② 植物検疫統計から輸入数量等を会員・賛助会員宛報告
- ③ その他植物検疫に関する事項

2. 主に事務局が行なう事業

- ① 輸入青果物統計資料及びその他資料の作成
- ② 日青協青果情報(ファックス情報)の発信(週2回)
- ③ 日青協ニュース発行(月2回)
- ④ PISA NEWS UPDATEの定期発行(月1回)
- ⑤ 関係官庁に対する情報提供・協議・要請など
- ⑥ 公的機関・業界関連諸会議内容の会員・賛助会員宛報告
- ⑦ 諸報道に関する会員・賛助会員宛連絡
- ⑧ 海外生産者・輸出者団体との連携強化
- ⑨ 各部会の運営に対する事務協力
- ⑩ その他関連する事項

総会には、厚生労働省から食品安全部の滝本監視安全課長、そして農林水産省からは消費・安全局の大友植物防疫課長のご臨席を得て、次のようなご挨拶を頂いた。

滝本課長

日青協会員の方々に、日頃から輸入食品の安全確保並びに食品衛生行政の推進に対するご理解、ご協力に感謝の意を表したい。

最近の食品衛生をとりまく状況は、①食品の安全性確保、②フードディフェンス、③メキシコ産アボカドの残留農薬問題など課題を抱えている。日青協においては輸入青果物安全情報センターシステムの食品衛生の取り組みについて継続的な検討をお願いしたい。

厚生労働省は、HACCPの全国的な普及展開や平成27年度の輸入食品監視指導計画の策定・公表を実施していく。輸入青果物については、生産段階における持続的な管理が必要となる為、貴協会の会員はじめ業界の皆さんには輸入青果物の安全性について、ご尽力を賜りたい。

最後に今後の貴協会のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念する。





大友課長：

植物検疫の円滑な推進に関して日頃の協力に感謝するとともに、植物検疫を巡る諸問題とその進捗状況を紹介し挨拶に代えたい。

①輸入植物検疫の見直し、②輸入解禁、③植物検疫100周年を迎え、シンポジウム実施や100年誌発行への協力に謝意を表した。

輸出検疫については、昨年輸出戦略実行委員会を設置し、オールジャパンでの実効性ある輸出拡大に取り組んでいる。これにより、相手国との間で検疫条件の協議を実施して、促進を図ることとしている。本総会において日青協は輸出促進関連団体設立へ参加することになったので、輸入業務に加え輸出についても協力を期待するところである。

今後とも、植物検疫の円滑な実施に関して日青協の協力に期待する。

第2回日青協理事会

通常総会に引き続きの第2回理事会では、通常総会において新理事の選任を経て新しい執行体制が次のとおり紹介された。任期は2年後の平成29年の通常総会までとなる。

会長 兼 代表理事	守谷 潤一 (東京青果貿易社長)
副会長 兼 代表理事 兼 総務担当 兼 バナナ部会長	加藤 正一 (スミフル会長)
副会長 兼 財務担当	北栄 哲弥 (伊藤忠商事農産部長)
副会長	植田 孝 (大果大阪青果社長)
副会長 兼 広報部会長	渡邊 陽介 (ドール社長)
シトラス・その他果実部会長	辻川 弘 (WISMETTAC フーズ常務)
常務理事 兼 事務局長 兼 植物防疫部会長	荻野 英明 (日青協本部)

総会終了後は同ホテル白鳥の間にて恒例の懇親会が開催され、開会のご挨拶並びに乾杯のご発生は加藤副会長にお願いし、中締めは植田副会長によるご挨拶と一本締めを以って盛会のうちに終了した。

青果物輸出促進に係る説明会

平成27年2月20日(金)13時から農林水産省のご配慮により、同省の会議室で開催された。当日は、21社37名の参加があり、守谷会長の挨拶に続き、農林水産省生産局農産物園芸作物課園芸流通加工対策室の岡田室長及び同省食糧産業局輸出グループの坂田係長により、「平成27年度青果物の輸出拡大方針」他4項目の説明があった。

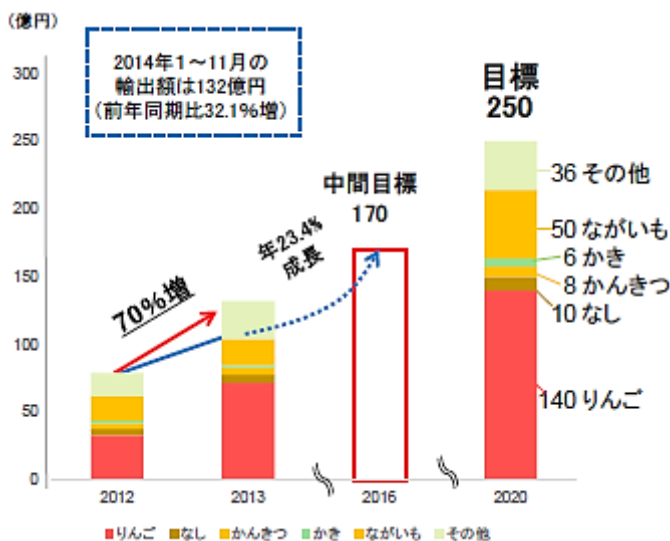
その後開催された、協会の総会及び理事会において、「輸出促進団体の設立に日青協が関与すること」について承認が得られた。

このため、関連事項を順次掲載していきます。

資料1(抜粋) 平成27年度 青果物の輸出拡大方針

青果物の輸出について、青果物の品目別輸出戦略に基づく輸出拡大を図る。さらに品目間・産地間の連携によるオールジャパンでの輸出拡大のため、「多品目周年供給体制」の検討を行うと共に、その実現に向け取り組む輸出団体設立に向けた検討を行う。

輸出の現状



- りんご 目標(2020年):140億円
台湾、香港、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア
- なし 目標(2020年):10億円
台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、米国、UAE
- かんきつ 目標(2020年):8億円
台湾、香港、シンガポール、タイ、カナダ、米国、ニュージーランド
- かき 目標(2020年):6億円
香港、タイ、マレーシア、米国
- ながいも 目標(2020年):50億円
台湾、シンガポール、マレーシア、米国

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_kikaku/pdf/housin_seika.pdf

米国産カンキツ類における週別輸入量の前年比較

資料:植物検疫統計(検査数量)単位:kg

